

問1 ある商店において、10kgの米に3,000円、バナナ1本に30円という値札が付けられている状況を想定します。このように、貨幣（お金）を用いて、性質の異なる様々な財やサービスの価値を「円」という共通の単位で数値化し、それらの価値を容易に比較できるようにする貨幣の働きを何といいますか。 (2021年 佐賀公立入試 類似)

1. 価値の尺度 2. 支払手段 3. 蓄蔵手段 4. 交換手段

問2 家計が銀行に資金を預ける際の利子と、銀行が企業へ資金を貸し付ける際の利子の関係について、銀行が経営を成り立たせるための意図として正しい説明はどれですか。 (2018年 徳島公立入試 類似)

1. 貸し付けの利子を高くすることで、企業の過度な借り入れを抑制し、景気の過熱を防ぐため。 2. 預金の利子を低く抑えることで、家計の貯蓄を減らし、消費活動を活性化させるため。 3. 預金者に支払う利子と貸し付けで受け取る利子の差を利益とし、人件費や店舗の維持費などの経費をまかなうため。 4. 日本銀行の指示により、すべての銀行が共通の利益率を確保し、金融システムの安定を図るため。

問3 不景気の際、日本銀行は市場に出回る通貨（資金）の量を調整することで景気の回復を図ります。この「金融緩和」と呼ばれる政策において、日本銀行が実施する具体的な操作とその目的の説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 民間銀行から国債などを買い上げ、市場に流通する資金の量を増やすことで、企業などの経済活動を活性化させる。 2. 民間銀行へ国債などを売り出し、市場の余剰な資金を回収することで、物価の急激な上昇を抑制する。 3. 政策金利（金利）を引き上げることで預金を促し、家計の貯蓄額を増やして将来の消費に備えさせる。 4. 増税を実施して政府の税収を増やし、それを財源として公共事業を拡大することで雇用を創出する。

問4 キャッシュレス決済の仕組みと通貨の性質について述べた次の文のうち、最も適切なものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)

1. クレジットカード決済などは、銀行にある預金を通貨のように機能させて支払いを行っている。 2. キャッシュレス決済で使われる電子データは、日本銀行が発行する現金通貨と同じ法的強制力を持つ。 3. 銀行の預金は、利子を得るための貯蓄手段であり、支払い手段としての通貨の性質は持たない。 4. キャッシュレス決済が普及すると、通貨の持つ「交換手段」としての機能は失われることになる。

問5 銀行などの金融機関が、家計などから預かったお金の対価として預金者に支払うもの、あるいは企業などに資金を貸し出した際の手数料として受け取るものの名称として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 静岡公立入試 類似)

1. 利子 2. 配当金 3. 元金 4. 売上金

問6 日本の中央銀行である日本銀行は、国内で唯一「日本銀行券」という紙幣を発行する権限を持っています。このような日本銀行の役割を何と呼びますか。 (2025年 和歌山公立入試 類似)

1. 発券銀行 2. 政府の銀行 3. 銀行の銀行 4. 市中銀行

問7 企業が株式や社債を発行して、家計などの投資家から資金を調達する「直接金融」の特徴を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山公立入試 類似)

1. 投資家が株式などを購入することで企業に直接資金を提供し、企業の業績や倒産などのリスクを投資家自身が負う。 2. 銀行が預金者から集めた資金を、銀行自身の責任で企業に貸し付けるため、預金者は貸付先の経営リスクを負わない。 3. 企業が過去の営業活動で得た利益を社内に蓄積し、そこから必要な設備投資の費用をまかなう。 4. 日本銀行が民間金融機関に資金を貸し出し、市場に流通する通貨の量を調整することで景気を安定させる。

問8 日本銀行が「発券銀行」という役割を持つことで、経済に対してどのような影響を及ぼすとされていますか。その仕組みとして最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 岩手県公立入試 類似)

1. 日本で唯一、紙幣を発行する権限を持ち、その流通量を調整することで物価の安定を図る。 2. 政府が発行する硬貨の製造量を決定し、国の予算を補う役割を果たす。 3. 各銀行が自由に紙幣を発行できるように許可を与え、市場の競争を促進する。 4. 企業の株券を買い取ることで、不況時に企業の倒産を直接的に防ぐ。

問9 日本において広く行われている、銀行などの金融機関が家計から預金として集めた資金を、家計に代わって企業などの資金を必要とする組織に貸し出す仕組みを何といいますか。 (2024年 大阪公立入試 類似)

1. 間接金融 2. 直接金融 3. 消費者金融 4. 公共金融

問10 日本の金融システムにおいて、銀行が家計から預金を集め、それを企業や個人へ貸し出すことで利益を得る仕組みについて、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 千葉県公立入試 類似)

1. 家計に支払う預金の利率を、企業などへ貸し出す際の利率よりも低く設定することで、その差額を利益としている。 2. 家計に支払う預金の利率を、企業などへ貸し出す際の利率よりも高く設定することで、預金者を増やす工夫をしている。 3. 預金の利率と貸し出しの利率は法律で同等に定められており、銀行は仲介手数料のみを利益としている。 4. 中央銀行から無利子で借り入れた資金をそのまま企業に貸し出し、企業からの寄付金を主な利益としている。

問11 不況（不景気）の際、日本銀行が景気を回復させるために行う金融政策として、適切な説明はどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)

1. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を増加させる。 2. 日本銀行が一般の銀行へ国債を売り、市場の通貨量を減少させる。 3. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を減少させる。 4. 日本銀行が一般の銀行へ国債を売り、市場の通貨量を増加させる。

問12 日本銀行が実施する「買いオペレーション」の目的と、その際の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 徳島公立入試 類似)

1. 不況の際に、日本銀行が国債を買い入れることで、世の中に出回る通貨量を増やし、景気の回復をはかる。 2. 好況の際に、日本銀行が国債を買い入れることで、世の中に出回る通貨量を増やし、過度な物価上昇を抑える。 3. 不況の際に、日本銀行が国債を売却することで、世の中に出回る通貨量を減らし、景気の回復をはかる。 4. 好況の際に、日本銀行が国債を売却することで、世の中に出回る通貨量を減らし、過度な物価上昇を抑える。

問13 日本の中央銀行である日本銀行が、一般の銀行に対して資金を貸し付けたり預金を受け入れたりする役割を指す言葉として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 岡山公立入試 類似)

1. 銀行の銀行 2. 政府の銀行 3. 発券銀行 4. 市中銀行

答え合わせ・解説

問1	答え 1 価値の尺度	貨幣には主に3つの機能がありますが、商品の価値を「価格」として表示し、ものさしのよう に測る役割を「価値の尺度」と呼びます。この機能があることで、米とバナナのように全く異 なる商品であっても、どちらがどれだけ価値が高いかを共通の数値で比較することが可能にな ります。選択肢にある「支払手段」は代金を支払う機能、「蓄蔵手段」は価値を蓄えておく機 能を指します。
問2	答え 3 預金者に支払う利子と貸し付けで受け取る利 子の差を利益とし、人件費や店舗の維持費な どの経費をまかなうため。	銀行も一つの企業として営利を目的としており、従業員の給与やシステム管理、店舗運営のた めの費用が必要です。そのため、預金者に対しては低い利子を支払い、一方で資金を貸し付け る側からは高い利子を受け取るという仕組みによって、運営に必要な利益を確保しています。 もし貸し付けの利子が預金の利子を下回れば、銀行は逆ざやの状態となり、経営を継続するこ とが困難になります。
問3	答え 1 民間銀行から国債などを買い上げ、市場に流 通する資金の量を増やすことで、企業などの 経済活動を活性化させる。	不景気のときには、世の中のお金の回りを良くする必要があります。日本銀行が民間銀行から 国債を買い取る「買いオペレーション」を行うと、その代金が民間銀行に支払われ、市場に流 通する通貨量が増加します。これにより、銀行が企業や個人にお金を貸し出しやすくなり、金 利も低下するため、設備投資や消費が刺激されて景気回復へとつながります。
問4	答え 1 クレジットカード決済などは、銀行にある預 金を通貨のように機能させて支払いを行って いる。	通貨には、価値を測る「尺度」、支払いに使う「交換手段」、価値を保存する「貯蔵」の機能 がある。銀行にある預金は、単に貯蓄されるだけでなく、キャッシュレス決済などを通じて口 座振替で支払いに利用されるため、「預金通貨」として交換手段の役割も果たしている。
問5	答え 1 利子	銀行は家計から預金という形でお金を集め、それを企業や個人に融資（貸し出し）すること で社会の経済活動を支えています。この資金の貸し借りに際して発生する対価を利子（または利 息）と呼びます。配当金は株式を保有している企業から利益の分配として受け取るものであり 、元金は貸し借りしたお金そのものの額を指します。
問6	答え 1 発券銀行	日本銀行は日本で唯一の「中央銀行」であり、民間の銀行にはない特別な役割を持っています 。中でも、私たちが普段使用しているお札（日本銀行券）を独占的に発行する役割を「発 券銀行」といいます。これにより、通貨の信頼性を維持し、世の中に流通するお金の量を適切 にコントロールすることが可能になります。他の選択肢である「政府の銀行」は国庫金の管理 、「銀行の銀行」は民間金融機関との取引を指す役割です。
問7	答え 1 投資家が株式などを購入することで企業に直 接資金を提供し、企業の業績や倒産などのリ スクを投資家自身が負う。	直接金融では、資金の出し手（投資家）と借り手（企業）が直接結びつきます。そのため、投 資した企業が倒産した場合には投資額を失うリスクがありますが、業績が良ければ高い配当な どの収益を得る可能性もあります。一方、銀行が間に入る間接金融では、銀行がリスクを負い 、預金者には一定の利息が支払われる仕組みになっています。
問8	答え 1 日本で唯一、紙幣を発行する権限を持ち、そ の流通量を調整することで物価の安定を図る 。	日本銀行は国内で唯一、日本銀行券（紙幣）を発行できる権限を持っています。この権限を通 じて、世の中に流通する通貨の量を調節する「金融政策」を行い、物価が急激に上がったたり下 がったりしないようにコントロールする重要な役割を担っています。
問9	答え 1 間接金融	資金の出し手（家計）と受け手（企業）の間に銀行などの金融機関が介在し、預金という形 で資金を集めて仲介を行う仕組みです。資金の出し手が直接、どの企業に資金を供給するかを 選択しないため、このように呼ばれます。
問10	答え 1 家計に支払う預金の利子率を、企業などへ貸 し出す際の利子率よりも低く設定することで 、その差額を利益としている。	銀行は「金融仲介機関」として、資金が余っている家計などから「預金」としてお金を集め、 資金を必要としている企業や個人に「貸し出し」を行います。このとき、預金者に対して支払 う利子の率（預金金利）よりも、貸出先から受け取る利子の率（貸出金利）を高く設定するこ とで、その差額（利ざや）を主な収益源としています。手数料も利益の一部ではありますが、 この金利差による収益が銀行経営の根幹を成しています。
問11	答え 1 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場 の通貨量を増加させる。	不景気のとき、日本銀行は市場に流通するお金の量を増やして経済を活性化させようとしま す。これを「買いオペレーション（買いオペ）」と呼びます。日本銀行が一般の銀行（民間金融 機関）が保有する国債を買い取ることで、その代金が民間銀行に渡り、企業や個人への貸し出 しに回るお金が増える仕組みです。
問12	答え 1 不況の際に、日本銀行が国債を買い入れるこ とで、世の中に出回る通貨量を増やし、景気 の回復をはかる。	買いオペレーションは、景気が悪い（不況）ときに行われる金融政策です。日本銀行が市場 から国債を買うことで、市場に流通するお金の量が増加し、金利が下がる傾向になります。その 結果、企業が銀行からお金を借りやすくなり、設備投資などが活発になることで景気を上向か せようとします。反対に、好況時には通貨量を減らすために売りオペレーションが行われます 。
問13	答え 1 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般企業が直接預金をしたり借入れをしたりする場所ではなく、 民間の金融機関（市中銀行）を相手に取引を行うことから、「銀行の銀行」と呼ばれます。こ れにより、金融システム全体の安定を図る役割を担っています。